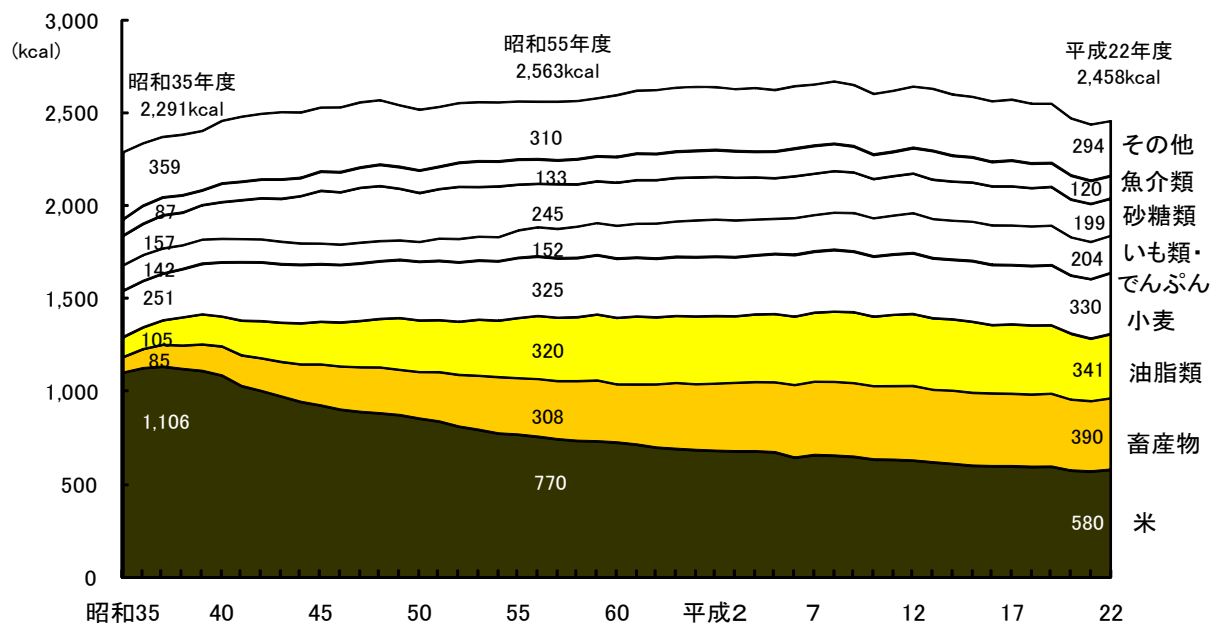


1 食料需給の動向

平成22年度の国民1人・1日当たりの総供給熱量は、米、小麦、油脂類等の消費が増加したことから、対前年度19kcal増の2,458kcalとなった。

また、国民1人・1日当たりの供給栄養量は、たんぱく質については、肉類、牛乳・乳製品の消費が増加したこと等から対前年度0.4%増（0.3g増）の79.5gとなり、脂質についても、油脂類の消費が増加したこと等により同1.5%増（1.2g増）の78.3gとなった。

我が国の食生活の変化
(国民1人・1日当たりの供給熱量の構成の推移)



2 供給純食料

平成22年度の国民1人・1年当たり供給純食料の動向は次のとおりである。

- (1) 米は、長期的に減少傾向で推移する中で、東日本大震災に伴う一時的な需要増等により、1.7%増(1.0kg増)の59.5kgとなった。

また、小麦は、22年7月以降に国際価格が上昇したものの、国内価格への影響が限定的だったこと等により、22年度は2.6%増(0.9kg増)の32.7kgとなった。

- (2) いも類は、かんしょ、ばれいしょともに、主産地における春先の低温、夏期の多雨の影響等により生産量が減少したこと等から、全体として4.0%減(0.7kg減)の18.6kgとなった。

また、でん粉は、清涼飲料向けの異性化糖を中心に夏場の猛暑により販売が順調であったこと等により、1.8%増(0.3kg増)の16.7kgとなった。

- (3) 豆類は、大豆について、景気の低迷等の影響により消費が減少したこと等から、全体として1.7%減(0.2kg減)の8.4kgとなった。

- (4) 野菜は、天候の影響により、ほぼ年間を通じて野菜全体の価格が高値に推移したこと等から、2.8%減(2.6kg減)の88.3kgとなった。

- (5) 果実は、うんしゅうみかんが裏年にあたったこと、りんごやその他の品目も天候不順等により総じて生産量が前年を下回ったことから、6.4%減(2.5kg減)の36.5kgとなった。

第 1 表 国 民

		穀 類	うち 米	うち 小麦	いも類	でんぷん	豆 類
実 数 (kg)	年度						
	昭和 40	145.0	111.7	29.0	21.3	8.3	9.5
	50	121.5	88.0	31.5	16.0	7.5	9.4
	60	107.9	74.6	31.7	18.6	14.1	9.0
	平成 7	102.0	67.8	32.8	20.7	15.6	8.8
	12	98.5	64.6	32.6	21.1	17.4	9.0
	17	94.6	61.4	31.7	19.7	17.5	9.3
	18	94.2	61.0	31.8	19.5	17.6	9.2
	19	95.0	61.4	32.3	20.3	17.5	9.2
	20	91.5	59.0	31.1	19.5	16.9	8.8
	21	91.6	58.5	31.8	19.3	16.4	8.6
	22	93.4	59.5	32.7	18.6	16.7	8.4
増減量(kg)	21～22	1.8	1.0	0.9	△ 0.7	0.3	△ 0.2
増 減 率 (%)	40～50	△ 16.2	△ 21.2	8.6	△ 24.9	△ 9.6	△ 1.1
	50～60	△ 11.2	△ 15.2	0.6	16.3	88.0	△ 4.3
	60～7	△ 5.5	△ 9.1	3.5	11.3	10.6	△ 2.2
	7～12	△ 3.4	△ 4.7	△ 0.6	1.9	11.5	2.3
	12～17	△ 4.0	△ 5.0	△ 2.7	△ 6.5	0.8	3.1
	17～18	△ 0.4	△ 0.6	0.2	△ 1.3	0.5	△ 0.6
	18～19	0.8	0.5	1.5	4.2	△ 0.6	△ 0.8
	19～20	△ 3.7	△ 3.8	△ 3.6	△ 3.9	△ 3.5	△ 3.4
	20～21	0.1	△ 0.9	2.3	△ 0.9	△ 3.3	△ 2.8
	21～22	2.0	1.7	2.6	△ 4.0	1.8	△ 1.7

(6) 肉類は、景気の低迷等の影響により、国産牛肉や豚肉の消費が減少する一方、割安な輸入牛肉や豚肉、鶏肉の消費が増加したことから、全体として1.6%増(0.5kg増)の29.1kgとなった。

(7) 鶏卵は、前年同の16.6kgとなった。

(8) 牛乳・乳製品は、飲用向けが、少子高齢化による消費の減少に加え、他飲料との競合等により減少傾向で推移している一方、乳製品が、景気持ち直しの動きを受けて消費が増加に転じたことにより、全体として1.8%増(1.6kg増)の86.4kgとなった。

(9) 魚介類は、少子高齢化による消費の減少に加え、消費者の魚離れが依然として進行していること等から1.5%減(0.5kg減)の29.6kgとなった。

(10) 砂糖類は、景気の低迷や砂糖卸売価格の高騰等により、2.0%減(0.4kg減)の18.9kgとなった。

(11) 油脂類は、他の植物油に比べ割安なパーム油の消費が増加していること等により、全体として2.8%増(0.4kg増)の13.5kgとなった。

1 人 ・ 1 年 当 た り 供 給 純 食 料

野 菜	果 実	肉 類	鶏 卵	牛乳・乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類
108.1	28.5	9.2	11.3	37.5	28.1	18.7	6.3
110.7	42.5	17.9	13.7	53.6	34.9	25.1	10.9
111.7	38.2	22.9	14.5	70.6	35.3	22.0	14.0
106.1	42.2	28.5	17.2	91.2	39.3	21.2	14.6
102.4	41.5	28.8	17.0	94.2	37.2	20.2	15.1
96.3	43.1	28.5	16.6	91.8	34.6	19.9	14.6
94.9	40.0	28.1	16.7	92.2	32.8	19.5	14.5
94.5	41.2	28.2	17.1	93.3	32.0	19.8	14.4
93.6	40.1	28.6	16.8	86.3	31.5	19.2	13.8
90.9	39.0	28.6	16.6	84.8	30.1	19.3	13.1
88.3	36.5	29.1	16.6	86.4	29.6	18.9	13.5
△ 2.6	△ 2.5	0.5	0.0	1.6	△ 0.5	△ 0.4	0.4
2.4	49.1	94.6	21.2	42.9	24.2	34.2	73.0
0.9	△ 1.7	27.9	5.8	31.7	1.1	△ 12.4	28.4
△ 5.0	10.5	24.5	18.6	29.2	11.3	△ 3.6	4.3
△ 3.5	△ 1.7	1.1	△ 1.2	3.3	△ 5.3	△ 4.7	3.4
△ 6.0	3.8	△ 1.2	△ 2.4	△ 2.6	△ 6.9	△ 1.3	△ 3.5
△ 1.5	△ 7.2	△ 1.2	0.6	0.5	△ 5.4	△ 2.2	△ 0.2
△ 0.4	3.0	0.4	2.5	1.1	△ 2.5	1.5	△ 1.0
△ 0.9	△ 2.6	1.1	△ 2.0	△ 7.5	△ 1.5	△ 2.9	△ 3.9
△ 2.9	△ 2.8	0.3	△ 1.3	△ 1.7	△ 4.5	0.6	△ 5.3
△ 2.8	△ 6.4	1.6	0.4	1.8	△ 1.5	△ 2.0	2.8

3 供給熱量

平成22年度の国民1人・1日当たりの供給熱量は、米、小麦、油脂類で消費が増加したこと等により、対前年度18.6kcal増の2457.5kcalとなった。

主な品目の動向は次のとおりである。

(1) 穀類は、米が1.7%増(9.9kcal増)の580.4kcal、小麦が2.6%増(8.5kcal増)の329.5kcalとなり、穀類全体では2.0%増(18.2kcal増)の922.1kcalとなった。また、食料全体の供給熱量に占める米の割合は、0.2ポイント増加し23.6%となった。

いも類は6.4%減(3.0kcal減)の44.0kcal、でんぷんは1.9%増(2.9kcal増)の160.1kcalとなった。

第 2 表 国 民 1 人 ・ 1 日

		穀 類	うち 米	うち 小麦	いも類	でんぷん	でんぷん質 計	豆 類	野 菜
実 数 (kcal)	年度								
	昭和 40	1,422.0	1,089.7	292.3	54.2	76.3	1,552.5	106.0	73.9
	50	1,191.4	856.4	316.8	39.0	71.0	1,301.4	107.3	78.0
	60	1,062.5	727.3	319.7	46.1	134.4	1,243.0	103.6	85.5
	平成 7	1,003.3	659.6	329.7	50.2	149.8	1,203.3	101.1	84.2
	12	971.9	630.0	328.3	51.4	167.3	1,190.6	105.0	82.9
	17	933.3	598.9	319.9	48.6	168.5	1,150.4	107.6	77.6
	18	929.9	595.4	320.4	47.5	169.4	1,146.7	106.9	76.2
	19	935.1	596.9	324.5	48.8	167.8	1,151.7	105.3	75.6
	20	902.7	575.6	313.7	47.1	162.5	1,112.3	102.0	74.9
	21	903.9	570.5	321.0	47.0	157.2	1,108.1	99.9	72.1
	22	922.1	580.4	329.5	44.0	160.1	1,126.2	98.4	69.8
増減量(kcal)	21~22	18.2	9.9	8.5	△ 3.0	2.9	18.1	△ 1.5	△ 2.3
増 減 率 (%)	40~50	△ 16.2	△ 21.4	8.4	△ 28.0	△ 6.9	△ 16.2	1.2	5.5
	50~60	△ 10.8	△ 15.1	0.9	18.2	89.3	△ 4.5	△ 3.4	9.6
	60~7	△ 5.6	△ 9.3	3.1	8.9	11.5	△ 3.2	△ 2.4	△ 1.5
	7~12	△ 3.1	△ 4.5	△ 0.4	2.4	11.7	△ 1.1	3.9	△ 1.5
	12~17	△ 4.0	△ 4.9	△ 2.6	△ 5.4	0.7	△ 3.4	2.5	△ 6.4
	17~18	△ 0.4	△ 0.6	0.2	△ 2.3	0.5	△ 0.3	△ 0.6	△ 1.8
	18~19	0.6	0.3	1.3	2.8	△ 0.9	0.4	△ 1.5	△ 0.7
	19~20	△ 3.5	△ 3.6	△ 3.3	△ 3.5	△ 3.2	△ 3.4	△ 3.1	△ 0.9
	20~21	0.1	△ 0.9	2.3	△ 0.1	△ 3.3	△ 0.4	△ 2.1	△ 3.8
	21~22	2.0	1.7	2.6	△ 6.4	1.9	1.6	△ 1.4	△ 3.1
構 成 比 (%)	昭和 40	57.8	44.3	11.9	2.2	3.1	63.1	4.3	3.0
	50	47.3	34.0	12.6	1.5	2.8	51.7	4.3	3.1
	60	40.9	28.0	12.3	1.8	5.2	47.9	4.0	3.3
	平成 7	37.8	24.9	12.4	1.9	5.6	45.3	3.8	3.2
	12	36.8	23.8	12.4	1.9	6.3	45.0	4.0	3.1
	17	36.3	23.3	12.4	1.9	6.5	44.7	4.2	3.0
	18	36.5	23.3	12.6	1.9	6.6	45.0	4.2	3.0
	19	36.7	23.4	12.7	1.9	6.6	45.2	4.1	3.0
	20	36.5	23.3	12.7	1.9	6.6	45.0	4.1	3.0
	21	37.1	23.4	13.2	1.9	6.4	45.4	4.1	3.0
	22	37.5	23.6	13.4	1.8	6.5	45.8	4.0	2.8

この結果、米、小麦などの穀類に、いも類、でんぷんを加えたでんぷん質計では、18.1kcal増
加し1,126.2kcalとなり、供給熱量全体に占めるでんぷん質計の割合は0.4ポイント増加し45.8%
となった。

(2) 畜産物は、肉類が1.4%増(2.4kcal増)の170.0kcal、鶏卵が0.4%増(0.2kcal増)の68.7kcal、
牛乳・乳製品が1.8%増(2.7kcal増)の151.5kcalとなった。

(3) 上記以外の品目については、豆類が98.4kcal(対前年度1.4%減)、魚介類が119.8kcal(同2.6%
減)、野菜が69.8kcal(同3.1%減)、果実が62.6kcal(同4.1%減)、油脂類が340.5kcal(同2.8%
増)、砂糖類が199.0kcal(同2.1%減)となった。

当 た り 供 給 熱 量

果 実	肉 類	鶏 卵	牛乳・ 乳製品	魚介類	砂糖類	油脂類	その他	合 計	(参考) 酒類を含む合計
39.1	52.3	50.1	61.7	98.5	196.3	159.0	69.3	2,458.7	2,536.8
57.7	108.4	60.7	87.9	119.3	262.4	274.5	60.7	2,518.3	2,625.0
57.3	134.1	60.1	123.9	136.0	231.0	353.8	68.2	2,596.5	2,728.1
66.0	169.4	70.8	159.5	148.4	221.5	367.6	62.0	2,653.8	2,803.7
66.0	171.1	70.2	165.2	135.8	212.3	382.9	60.9	2,642.9	2,801.2
70.2	166.7	68.6	160.9	137.0	209.5	368.3	56.0	2,572.8	2,755.4
65.8	164.2	69.1	161.7	130.9	204.8	367.7	56.5	2,550.5	2,762.3
66.2	164.8	70.6	163.1	126.7	207.4	362.9	56.4	2,550.8	2,760.0
65.8	167.1	69.4	151.3	127.8	201.9	349.8	49.4	2,471.8	2,691.8
65.3	167.6	68.5	148.8	123.0	203.2	331.3	51.2	2,438.9	2,687.4
62.6	170.0	68.7	151.5	119.8	199.0	340.5	50.8	2,457.5	2,668.1
△ 2.7	2.4	0.2	2.7	△ 3.2	△ 4.2	9.2	△ 0.4	18.6	△ 19.3
47.6	107.3	21.2	42.5	21.1	33.7	72.6	△ 12.4	2.4	3.5
△ 0.7	23.7	△ 1.0	41.0	14.0	△ 12.0	28.9	12.4	3.1	4.0
15.2	26.3	17.8	28.7	9.1	△ 4.1	3.9	△ 9.1	2.2	2.8
0.0	1.0	△ 0.8	3.6	△ 8.5	△ 4.2	4.2	△ 1.8	△ 0.4	△ 0.1
6.4	△ 2.6	△ 2.2	△ 2.6	0.8	△ 1.3	△ 3.8	△ 8.1	△ 2.7	△ 1.6
△ 6.3	△ 1.5	0.6	0.5	△ 4.4	△ 2.3	△ 0.2	1.0	△ 0.9	0.3
0.6	0.4	2.2	0.8	△ 3.2	1.3	△ 1.3	△ 0.2	0.0	△ 0.1
△ 0.5	1.4	△ 1.7	△ 7.2	0.8	△ 2.7	△ 3.6	△ 12.4	△ 3.1	△ 2.5
△ 0.9	0.3	△ 1.3	△ 1.7	△ 3.7	0.6	△ 5.3	3.5	△ 1.3	△ 0.2
△ 4.1	1.4	0.4	1.8	△ 2.6	△ 2.1	2.8	△ 0.7	0.8	△ 0.7
1.6	2.1	2.0	2.5	4.0	8.0	6.5	2.8	100.0	—
2.3	4.3	2.4	3.5	4.7	10.4	10.9	2.4	100.0	—
2.2	5.2	2.3	4.8	5.2	8.9	13.6	2.6	100.0	—
2.5	6.4	2.7	6.0	5.6	8.3	13.9	2.3	100.0	—
2.5	6.5	2.7	6.3	5.1	8.0	14.5	2.3	100.0	—
2.7	6.5	2.7	6.3	5.3	8.1	14.3	2.2	100.0	—
2.6	6.4	2.7	6.3	5.1	8.0	14.4	2.2	100.0	—
2.6	6.5	2.8	6.4	5.0	8.1	14.2	2.2	100.0	—
2.7	6.8	2.8	6.1	5.2	8.2	14.2	2.0	100.0	—
2.7	6.9	2.8	6.1	5.0	8.3	13.6	2.1	100.0	—
2.5	6.9	2.8	6.2	4.9	8.1	13.9	2.1	100.0	—

4 供給たんぱく質

平成22年度の国民1人・1日当たりのたんぱく質は、肉類、牛乳・乳製品の消費増に伴う動物性たんぱく質の増加等により、対前年度0.4%増(0.3g増)の79.5gとなった。

(1) 動物性たんぱく質は、畜産物が1.5%増(0.4g増)の27.8g、水産物が1.5%減(0.3g減)の15.5gとなったことから、全体として0.4%増(0.2g増)の43.3gとなった。

植物性たんぱく質は、穀類が2.1%増(0.4g増)の20.1g、豆類が1.7%減(0.1g減)の7.1gとなったこと等から、全体として0.3%増(0.1g増)の36.1gとなった。

この結果、供給たんぱく質全体に占める割合は前年同で、動物性たんぱく質が54.5%、植物性たんぱく質が45.5%となった。

第 3 表 国 民

		動 物 性	
		畜 産	
		肉類	鶏卵
実 数 (g)	年度		
	昭和 40	3.6	3.8
	50	8.4	4.6
	60	11.3	4.9
	平成 7	14.2	5.8
	12	14.4	5.7
	17	14.3	5.6
	18	14.1	5.6
	19	14.1	5.7
	20	14.3	5.7
	21	14.4	5.6
	22	14.6	5.6
	増減量(g)	21～22	0.2
増 減 率 (%)	40～50	133.3	21.1
	50～60	34.5	6.5
	60～7	25.7	18.4
	7～12	△ 1.4	△ 1.7
	12～17	△ 1.0	△ 1.9
	17～18	△ 1.1	0.6
	18～19	0.1	2.2
	19～20	1.4	△ 1.7
	20～21	0.4	△ 1.3
	21～22	1.7	0.4
	昭和 40	4.8	5.1
	50	10.5	5.7
	60	13.8	6.0
構 成 比 (%)	平成 7	16.2	6.6
	12	16.6	6.6
	17	17.0	6.7
	18	17.1	6.8
	19	17.1	7.0
	20	17.9	7.1
	21	18.1	7.0
	22	18.4	7.0

第 4 表 国 民

		畜 肉	
		肉	
		牛肉	豚肉
実 数 (g)	年度		
	昭和 40	0.7	1.4
	50	1.3	3.4
	60	1.8	4.6
	平成 7	3.5	5.1
	12	3.5	5.3
	17	2.6	6.0
	18	2.6	5.7
	19	2.6	5.7
	20	2.6	5.8
	21	2.7	5.7
	22	2.7	5.8
構 成 比 (%)	昭和 40	2.7	5.4
	50	3.7	9.7
	60	4.4	11.2
	平成 7	7.2	10.6
	12	7.3	11.1
	17	5.6	12.9
	18	5.7	12.7
	19	5.9	12.8
	20	6.0	13.3
	21	6.3	13.2
	22	6.3	13.3

(2) 動物性たんぱく質供給量の構成をみると、肉類、牛乳・乳製品の消費が増加し、魚介類の消費が減少した。

この結果、動物性たんぱく質供給量全体に占める割合は、畜産物が0.6ポイント上昇し64.1%、水産物が35.9%となった。

1 人 ・ 1 日 当 た り 供 給 た ん ば く 質

たんぱく質				植物性たんぱく質				計	合計
物	小計	水産物	計	穀類	豆類	その他			
牛乳・乳製品									
3.0	10.4	15.5	25.9	30.3	7.3	11.5	49.1	75.0	
4.2	17.3	17.7	35.0	26.4	7.5	11.4	45.3	80.3	
6.2	22.4	18.8	41.2	22.4	7.4	11.1	40.9	82.1	
8.0	27.9	20.4	48.3	21.5	7.3	10.8	39.6	87.9	
8.3	28.4	19.4	47.8	20.9	7.5	10.6	39.0	86.8	
8.0	27.9	18.3	46.2	20.2	7.8	9.8	37.8	84.0	
8.1	27.8	17.3	45.1	20.1	7.7	9.7	37.5	82.6	
8.2	28.0	16.8	44.8	20.3	7.6	9.6	37.5	82.3	
7.6	27.5	16.4	43.9	19.6	7.5	9.2	36.2	80.2	
7.4	27.4	15.8	43.1	19.7	7.2	9.1	36.0	79.2	
7.6	27.8	15.5	43.3	20.1	7.1	8.9	36.1	79.5	
0.2	0.4	△ 0.3	0.2	0.4	△ 0.1	△ 0.2	0.1	0.3	
40.0	66.3	14.2	35.1	△ 12.9	2.7	△ 0.9	△ 7.7	7.1	
47.6	29.5	6.2	17.7	△ 15.2	△ 1.3	△ 2.6	△ 9.7	2.2	
29.0	24.6	8.5	17.2	△ 4.0	△ 1.4	△ 2.7	△ 3.2	7.1	
0.0	△ 1.1	5.4	1.4	△ 4.2	△ 1.3	△ 2.8	△ 3.2	△ 0.7	
△ 3.0	△ 1.8	△ 5.4	△ 3.3	△ 3.4	3.6	△ 7.2	△ 3.1	△ 3.2	
0.5	△ 0.3	△ 5.8	△ 2.5	△ 0.3	△ 0.7	△ 1.9	△ 0.8	△ 1.7	
0.8	0.7	△ 2.8	△ 0.6	0.6	△ 1.0	△ 0.5	0.0	△ 0.3	
△ 7.2	△ 1.8	△ 2.2	△ 1.9	△ 3.4	△ 2.3	△ 4.5	△ 3.5	△ 2.6	
△ 1.7	△ 0.5	△ 4.0	△ 1.8	0.6	△ 2.9	△ 0.8	△ 0.5	△ 1.2	
1.8	1.5	△ 1.5	0.4	2.1	△ 1.7	△ 2.0	0.3	0.4	
4.0	13.9	20.7	34.5	40.4	9.7	15.3	65.5	100.0	
5.2	21.5	22.0	43.6	32.9	9.3	14.2	56.4	100.0	
7.6	27.3	22.9	50.2	27.3	9.0	13.5	49.8	100.0	
9.1	31.7	23.2	54.9	24.5	8.3	12.3	45.1	100.0	
9.6	32.7	22.4	55.1	24.1	8.6	12.2	44.9	100.0	
9.6	33.2	21.8	55.0	24.0	9.2	11.7	45.0	100.0	
9.8	33.7	20.9	54.6	24.4	9.3	11.7	45.4	100.0	
9.9	34.0	20.4	54.4	24.6	9.3	11.7	45.6	100.0	
9.4	34.3	20.5	54.8	24.4	9.3	11.5	45.2	100.0	
9.4	34.6	19.9	54.5	24.9	9.1	11.5	45.5	100.0	
9.5	35.0	19.5	54.5	25.3	9.0	11.2	45.5	100.0	

1 人 ・ 1 日 当 た り 動 物 性 た ん ば く 質 供 給 量 の 構 成

産 物				計	水 産 物		計	合計
類		鶏卵	牛乳・ 乳製品		魚介類	鯨肉		
鶏肉	その他の肉							
1.0	0.4	3.8	3.0	10.4	14.2	1.3	15.5	25.9
2.8	0.9	4.6	4.2	17.3	17.1	0.6	17.7	35.0
4.5	0.5	4.9	6.2	22.4	18.6	0.2	18.8	41.2
5.3	0.3	5.8	8.0	27.9	20.4	0.0	20.4	48.3
5.4	0.2	5.7	8.3	28.4	19.4	0.0	19.4	47.8
5.5	0.2	5.6	8.0	27.9	18.3	0.0	18.3	46.2
5.7	0.1	5.6	8.1	27.8	17.3	0.0	17.3	45.1
5.6	0.1	5.7	8.2	28.0	16.8	0.0	16.8	44.8
5.7	0.1	5.7	7.6	27.5	16.4	0.0	16.4	43.9
5.8	0.1	5.6	7.4	27.4	15.8	0.0	15.8	43.1
6.0	0.1	5.6	7.6	27.8	15.5	0.0	15.5	43.3
3.9	1.5	14.7	11.6	40.2	54.8	5.0	59.8	100.0
8.0	2.6	13.1	12.0	49.4	48.9	1.7	50.6	100.0
10.9	1.2	11.9	15.0	54.4	45.1	0.5	45.6	100.0
11.0	0.6	12.0	16.6	57.8	42.2	0.0	42.2	100.0
11.3	0.4	11.9	17.4	59.4	40.6	0.0	40.6	100.0
12.0	0.4	12.1	17.4	60.3	39.6	0.1	39.7	100.0
12.6	0.3	12.5	17.9	61.7	38.3	0.1	38.3	100.0
12.6	0.3	12.8	18.2	62.5	37.4	0.0	37.5	100.0
13.0	0.3	12.9	17.2	62.6	37.3	0.1	37.4	100.0
13.5	0.3	12.9	17.2	63.5	36.5	0.0	36.5	100.0
13.9	0.2	12.9	17.5	64.1	35.8	0.0	35.9	100.0

5 供給脂質

平成22年度の国民1人・1日当たりの供給脂質は、油脂類の消費の増加等により対前年度1.5%増(1.2g増)の78.3gとなった。

(1) 油脂類については、植物性油脂が3.1%増(1.0g増)の34.7g、動物性油脂が1.4%減(0.0g減)の2.2gとなったことから、油脂類計で2.8%増(1.0g増)の36.9gとなった。

(2) 油脂類以外の品目は、肉類が1.2%増(0.2g増)の11.5g、牛乳・乳製品が1.8%増(0.2g増)の8.3g、魚介類が4.0%減(0.2g減)の5.6gとなったこと等から、全体で0.4%増(0.2g増)の41.4gとなつ

第 5 表 国 民

		油 脂 類		
		植物性	動物性	計
実 数 (g)	年度 昭和 40	12.7	4.5	17.2
	50	23.7	6.0	29.7
	60	31.4	6.9	38.3
	平成 7	34.2	5.6	39.8
	12	37.5	4.0	41.5
	17	36.9	3.0	39.9
	18	36.9	2.9	39.9
	19	36.6	2.7	39.3
	20	35.6	2.3	37.9
	21	33.7	2.2	35.9
	22	34.7	2.2	36.9
増減量(g)	21~22	1.0	0.0	1.0
増 減 率 (%)	40~50	86.6	33.3	72.7
	50~60	32.5	15.0	29.0
	60~7	8.9	△ 18.8	3.9
	7~12	9.6	△ 28.6	4.3
	12~17	△ 1.6	△ 23.9	△ 3.8
	17~18	0.1	△ 3.5	△ 0.2
	18~19	△ 0.9	△ 6.8	△ 1.3
	19~20	△ 2.7	△ 15.3	△ 3.6
	20~21	△ 5.4	△ 3.6	△ 5.3
	21~22	3.1	△ 1.4	2.8
構 成 比 (%)	昭和 40	28.7	10.2	38.8
	50	37.1	9.4	46.5
	60	41.6	9.2	50.8
	平成 7	41.4	6.8	48.1
	12	44.5	4.8	49.3
	17	44.6	3.7	48.2
	18	44.8	3.6	48.4
	19	44.8	3.3	48.2
	20	44.9	2.9	47.9
	21	43.7	2.9	46.6
	22	44.3	2.8	47.2

た。

- (3) この結果、供給脂質全体に占める割合は、油脂類が0.6ポイント上昇し47.2%、油脂類以外の品が52.8%となった。

1人・1日当たり供給脂質

油 脂 類 以 外						合計
肉類	鶏卵	牛乳・乳製品	穀類	その他	計	
3.4	3.5	3.4	5.7	11.1	27.1	44.3
7.4	4.2	4.8	5.0	12.8	34.2	63.9
9.1	4.1	6.8	3.8	13.3	37.1	75.4
11.6	4.8	8.7	3.7	14.1	42.9	82.7
11.7	4.8	9.0	3.6	13.6	42.7	84.2
11.3	4.7	8.8	3.5	14.6	42.8	82.8
11.1	4.7	8.8	3.5	14.5	42.6	82.4
11.2	4.8	8.9	3.5	14.0	42.4	81.7
11.3	4.7	8.3	3.4	13.7	41.3	79.3
11.3	4.7	8.1	3.4	13.7	41.2	77.1
11.5	4.7	8.3	3.5	13.5	41.4	78.3
0.2	0.0	0.2	0.1	△ 0.2	0.2	1.2
117.6	20.0	41.2	△ 12.3	9.9	26.2	44.2
23.0	△ 2.4	41.7	△ 24.0	△ 6.4	8.5	18.0
27.5	17.1	27.9	△ 2.6	6.0	15.6	9.7
0.9	0.0	3.4	△ 2.7	△ 3.5	△ 0.5	1.8
△ 3.5	△ 2.5	△ 2.2	△ 3.9	7.4	0.3	△ 1.7
△ 1.7	0.6	0.5	△ 0.2	△ 0.9	△ 0.6	△ 0.4
0.5	2.2	0.8	0.6	△ 3.2	△ 0.5	△ 0.9
1.2	△ 1.7	△ 7.2	△ 3.3	△ 2.4	△ 2.5	△ 3.0
0.4	△ 1.3	△ 1.7	0.7	△ 0.0	△ 0.3	△ 2.7
1.2	0.4	1.8	2.2	△ 1.5	0.4	1.5
7.7	7.9	7.7	12.9	16.0	61.2	100.0
11.6	6.6	7.5	7.8	12.2	53.5	100.0
12.1	5.4	9.0	5.0	9.7	49.2	100.0
14.0	5.8	10.5	4.5	9.3	51.9	100.0
13.9	5.7	10.7	4.3	9.6	50.7	100.0
13.6	5.7	10.6	4.2	17.6	51.8	100.0
13.5	5.7	10.7	4.2	17.5	51.6	100.0
13.7	5.9	10.9	4.2	17.1	51.8	100.0
14.3	6.0	10.4	4.2	17.2	52.1	100.0
14.7	6.1	10.6	4.4	17.7	53.4	100.0
14.7	6.0	10.6	4.4	17.2	52.8	100.0